

2014年  
1・2月号  
Vol. 7

## 幸義会だより

岡山東部脳神経外科



## 新年のご挨拶

理事長 滝澤 貴昭



新年あけましておめでとうございます。幸義会だよりも、編集委員の皆様のご努力で、順調に一周年を迎えることが出来ました。

昨年は、麻酔科に五藤先生をお迎えし、当院としてもさらに新しい一歩を踏み出すことが出来ました。昨年には大変不幸な出来事がありました。福岡にて有床診療所火災がおこり、多数の犠牲者が出てしまいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。私たち医療関係者、とくに有床診療所経営者にはとてもショッキングなことでしたが、常日頃から、いつかどこかで起こるのではないかと懸念していたことも事実です。火災発生数日後には、当院にも岡山市消防本部の監査がありました。幸い、日頃の職員の皆様の心がけ・点検のお蔭で、指摘される事項はありませんでした。この火災をきっかけとして、今後さらに職員一同が気を引き締めて患者様の安全・安心に努めていかねばならないと再認識させられました。岡山クリニックでは、開設当初から全館スプリンクラーが設置されており、また東備クリニックでも、この火災の起こる前に計画していた病棟スプリンクラー取り付け工事が11月中旬に終了しました。夜間の当直職員は岡山クリニックで5人、東備クリニックで3人体制であり、それぞれの役割分担も再確認しております。

さて、火災の後に各マスコミでは診療所に入院ってどういうこと？とか、有床診療所と病院の違いについての細かい報道がありました。当院も、病院並みの施設と陣容・手術件数ではありますが、東備クリニック・岡山クリニックと名乗るように、病院ではなく、クリニックすなわち診療所です。循環器科専門の岡山ハートクリニックも同じようなスタイルです。ここでは有床診療所について簡単に説明させていただきます。

有床診療所は日本独自の入院施設で、それは江戸時代に開設された小石川養生所を起源とします。入院が可能な診療所で、ベッド数は19以下ですが、医師は1人でもよく、夜勤の看護スタッフは多くのクリニックで1名しかいません。現在、国内に約1万の有床診療所がありますが、その入院基本料は一般中小病院の半分以下、大学病院や多くの公的病院の1/3～1/4程度であり、患者様には優しいが、経営

は大変というのが実情です。そのため、最近20年間で有床診療所の総数は1/3に減っており、さらに毎年千ずつ閉鎖されているという現状です。厚生労働省は、今後の在宅医療に不可欠な施設と位置づけていますが、待遇の抜本的対策がない限り減少には歯止めがかからないと危惧しています。

日本では昭和63年以後、医療過疎地以外では新規の病院開設は出来ません。都道府県単位で地域医療計画があり必要病床数が決められています。岡山県南東部地域医療圏は岡山市から赤磐・備前・玉野・瀬戸内市などの広範囲に及びますが、岡山市街地に大病院・総合病院が多数あるために数百床の過剰が続いており、実質的には新規の病院開設が出来ないのです。そこで近年は、有志あるものが、複数の医師で有床診療所を開設して、理想とする医療を提供してきました。しかし、これも平成20年からは産科・小児科・離島などを除いては規制されることとなりました。当院も、そのような事情で、病院ではなく有床診療所という形態を採っていますが、医療内容は国内トップレベルが維持できるよう職員一同努力しています。衣料品ならばデパートやディスカウント大型チェーン店ではなく、高級ブランドブティックのような専門家集団としての立場を誇っていきたくと考えています。ところで衣料品の購入とは異なり、あくまで日本の医療は皆保険制度で成り立っていますので、どんなに経験豊富な医師やメデイカルスタッフが担当しても未熟なものが担当しても同じ医療費と決められております。これは経営的には厳しい現実ではありますが、患者様にとっては専門家集団による医療を低いハードルで迅速に享受していただけるという利点があると考えられます。ので、私たちは脳神経疾患の専門家集団として地域医療への貢献を続けていきたいと願っております。

日本では手術を行っている脳神経外科専門の有床診療所が約50有ります。当院の常勤医師数は全国一であり、麻酔科専門医がいるところや後期研修医が在籍するクリニックは他にはありません。岡山クリニックの手術件数は開院以来継続的にダントツで全国一ですが、東備クリニックでも、この度、再び全身麻酔にて顕微鏡手術ができる設備を充実させました。緊急手術・予定手術ともに、より柔軟に対応できるようになってきましたが、全スタッフがさらなる緊張感をもって良質の医療を提供できるよう心がけていきたいと思っております。

皆様にとって、より良き一年となりますよう祈念しております。

## 岡山クリニック 病棟

新年明けましておめでとうございます。開院から10年を経て心機一転新春を迎えております。私ども病棟スタッフは、患者様、ご家族の方とふれ合う時間を多く頂戴できる部署でもあります。多くの方が、急な闘病生活に不安を募らせていることお察しいたします。スタッフ一人ひとりが役割と責任を自覚し、患者さま主体の良質な看護を提供し、患者さま、ご家族を身近でサポートできるように努力してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



## 東備クリニック 病棟

新年明けましておめでとうございます。今回は、広報誌創刊一周年にあたり、東備クリニックのスタッフについて紹介いたします。

東備クリニック病棟には、二名の男性看護師がいます。か弱い(?)女性看護師の中で彼らは頼もしく心強い存在です。そして患者様にとってもやさしいので、特に女性の患者様に人気があります。

患者様に対して今まで以上のより良いケアをさせていただく為に、昨年末よりヘルパーが加わり、これからは質の高い看護・ケアの提供が出来るよう努め、患者様・ご家族の方が安心して入院生活を過ごさ一日も早く回復が出来ますようにサポートさせていただきます。



## 岡山クリニック 外来

皆様はじめまして、私たちは岡山東部脳神経外科 岡山クリニック外来です。看護師4人、クラーク2人で外来に來られる患者様の診察の補助、検査案内、採血、救急対応などしております。

見た目よりは？少々年を重ねておりますが、寒さにも負けず、元氣一杯笑顔を絶やさないよう、対応をさせて頂いております。

スムーズな診察ができるように、患者様と先生との懸け橋になればと、今後も精一杯努力していきたくと思っております。これからもどうぞよろしくお願ひします。



## 東備クリニック 外来

当院東備クリニック外来スタッフは、看護師5名とクラーク3名です。スタッフはいつも笑顔で

⑧ おきな声で元氣良くと  
⑨ ツットーに親切・優しく  
⑩ ていねいに

⑪ なんでも相談にのつてます。これからも

⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿





16年を振り返ってみて新年に思うこと。

事務局長 榎本 満輝



皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

事務局長の榎本満輝と申します。御縁があり、16年前の平成10年1月6日から岡山の地で働かせて頂いております。

当時岡山市内の開設準備室に通いながら、職員の間接をさせて頂いたことや、業者の方と医療機器及び材料・薬品仕入れについて相談をさせて頂いたこと、金融関係・建築関係等各業界の方にお世話になったこと、医療法人設立にあたり書類作成に奔走したことを懐かしく思い出します。平成10年5月6日に東区瀬戸町に本院（東備クリニック）を開院し、その5年後の平成15年10月1日に北区牟佐に分院（岡山クリニック）を開院致しました。「光陰矢の如し」あつと言う間の16年間でした。地域の先生方や患者様を初めとし、これまで多くの方々に大変お世話になり誠にありがとうございました。紙面をお借りして御礼を申し上げます。

滝澤理事長、南先生を初めとし、当院の医療理念に賛同してお集り頂いた、野口先生、浮田先生、宮崎先生、佐藤先生、また今年よりお越し下さいました五藤先生、そして全職員の皆様のお陰で16年間頑張つて来られました。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、平成26年度診療報酬改定の基本方針が発表されました。社会保障・税の一体改革において消費税率を引き上げ、その財源を活用して医療の機能強化と効率化に取り組む方針です。

全体の方向性として外来診療は診療所、入院診療は病院という2つの柱のもと、診療所は在宅医療の推進を図り、病院は病床機能を「高度急性期、急性期、回復期、慢性期」の4区分に分けられることとなり、更に機能分化が行われ医療費の抑制が進められるようです。有床診療所については、厚生労働相の諮問機関である社会保険審議会医療部会において、「地域に密着した医療を担う役割を高く評価する必要がある」「地域医療の充実を診療報酬の算定に反映するように」との議論がされていると新聞報道

にありました。

当院のような有床診療所は、19床以下とはいえベッドを抱え職員を雇用し固定費がかかっているにも拘わらず、入院基本料は20床の病院と比べ随分と低く設定してあります。入院基本料を20床以上か以下かで線を引くことに何の合理性があるのかと以前から疑問があり、有床診療所の診療報酬についての議論には、いつも目配りをされていないことに不満を抱いております。今年4月の改定では手厚い評価がされることを期待しています。

また、昨年の10月11日に福岡市の整形外科医院で入院患者さんら10人が死亡する火災が発生したことは今だ記憶に新しいことと思います。この件をきっかけに有床診療所の防火設備の充実に向けて診療報酬を引き上げるべきとの声もあるようです。

有床診療所の全てにスプリンクラーの設置が義務付けられている訳ではありません。建築基準法により延べ床面積に応じて防火設備の設置義務が定めてありますが、当院の様に肢体の不自由な方を多く収容する施設にはスプリンクラーが設置されることが望ましいのは言うまでもありません。

牟佐の岡山クリニックにはスプリンクラー設備は備えてあります。瀬戸町の東備クリニックには建築基準法上設置義務がなかった為設置していませんでしたが、当院では福岡の火災が発生する以前からスプリンクラー設置の必要性を強く感じており、昨年11月に簡易型スプリンクラーの設置工事を終えました。昨年、11月には岡山クリニックと東備クリニックともに消防法に基づく有資格者による検査も終え、各通報装置、防火扉の正常動作を確認致しました。防火管理を適正に行い、火災の発生を未然に防止することが最も重要と考え取り組んでおります。

この16年間、コックスである理事長、ストロークの院長、パウの副院長、そしてミドルルである職員により幸義丸は航海を続けて参りました。患者サービスの向上やコスト削減、カルテ記載の充実や業務の合理化、また、福利厚生者の拡充や職場環境の改善等、私もクルーの一人として経営感覚というオールを持ち、医療の荒波を乗り越えて行く所存ですのでどうぞよろしくお願い致します。

十五年・十年

勤続職員の紹介

今回、勤続年数十五年・十年の職員を紹介させていただきます。

十五年

宮本真美子 山手 利美  
従野みず江 星野 栄喜  
岡本三枝子

十年

〔東備クリニック〕  
今井美樹子 元宗富貴子  
平田美由紀 原田 茂樹  
内藤 大輔 大地由美子  
荒島 慶子 梶田由美子  
〔岡山クリニック〕  
徳永 真紀 西井 寿栄  
福田 道子 末房眞美子  
木和田小春 仁後 恭世  
橋本 雅子 藤本 太二  
朝野 史恵 花房 由香  
大門 智美 岡 美希  
寺下 和美 岸本今日子



岡山クリニック



東備クリニック

栄養部より

『御節(おせち)』とは？

もともと節供(せつぐ)に食べられる料理を『御節供』(おせちく)といい、それが後に『おせち』と略され、今の正月料理を意味するようになったと言われています。お祝いに欠かせない肴三種は、地方によって異なりますが、一般的に、数の子(卵の数が多く、子孫繁栄を願う縁起物)、黒豆(黒色の魔よけの力、まめ(勤勉)に働き、まめ(健康)に暮らせることを願う縁起物)、田作り(こまめ(五万米)とも呼ばれ、豊作を願う縁起物)が代表として挙げられ、その他にも、海老、鯛、鰯、昆布巻、伊達巻、栗きんとんなど様々な縁起を担いだ食べ物が重箱に詰められます。重ねて用意するのは、めでたさを重ねるという意味で、これも縁起をかつぐためだそうです。

新職員挨拶

11月より東備クリニックの看護助手として勤務しております。まだまだ戸惑う事も多く不慣れな毎日ですが、一日も早く一人前の職員としてお役に立てる様に一生懸命頑張りたいと思います。

今後ともどうか指導のほどよろしくお願い致します。



兼光 環希



田中 房子



澁谷 幸恵

薬局より

一月七日は、「七草節句」といって、この日に「春の七草」を使った「おかゆ」(七草がゆ)を作って食べると、その一年を無病息災で過ごすことができるといわれています。平安時代から続く風習ですが七草に用いられる野草は薬効たっぷりです。

セ リ…食欲増進、貧血、更年期障害の予防  
ナズ ナ…下痢、腹痛、腎臓、肝臓の機能を整える

ハハコグサ…せき、のどの痛みを和らげる  
ハコベ…整胃・整腸作用、母乳の分泌の促進、

歯痛

ホトケノザ…高血圧予防

スズ ナ…根アミノ酸、ブドウ糖、ペクチン、

ビタミンC、葉ビタミンA、ビタミンC、ビタミンB1、B2

スズシロ…下痢、消化不良、ビタミンA、ビタミンC

お正月の豪華な食べ物や飲酒で疲れきった胃腸など内臓をいたわる効果やビタミン不足を補う効果があるのです。

デイサービスセンター

「歩夢」より

新年明けましておめでとうございます。皆様もうご存知と思いますが、デイサービスは介護保険制度の改正の話が出ています。

今年は午年で、世間は大きく駆け回っているかもしれないませんが、当デイサービスセンター「歩夢」はそんな風に流されず、マイペースで柔軟に対応していきたいと思っています。

